

# TWC ニュース 3 号

## 秋の筑波山麓歴史ウォーク開催

2008. 11. 19

秋深まる筑波山のふもと、すがすがしい秋空と紅葉を満喫しながら、TWC メンバーを中心とする 33 名が、古色ゆかしい北条の町並みや歴史を秘めた数々の寺院を眺めながらのウォーキングを楽しんだ。

朝 9:45 には、参加者全員が筑波総合体育館駐車場に集合、秋山会長の挨拶、坂場副会長のリードによる軽い柔軟体操のあと、10:00 旗を掲げた先導役に続いて、2 列の隊形でウォーキングが開始された。北条ふれあいロードという赤い小旗がならぶ北条市街地。ここは、その昔、この地域一帯の商業の中心として賑わいを見せた所という。



予定時刻 11:00 を 5 分ほど遅れて、中継地の普門寺へ到着。古い伝統を誇る寺院としての静粛で美しい環境に一同深い感銘を受ける。到着すると、お茶と珍しい餡ドーナツを頂戴し、一同感激。その後住職さんよりお寺の歴史や近況についてお話をいただいた。「神仏は尊い存在、ここのご本尊は阿弥陀如来だが、最近の人はあまり頭をたれて礼拝する人が少なくなった。」との住職の言葉に、内心ぎくりとした。



正午予定通り平沢官衙の広場に到着、思い思いのグループに分かれて昼食を楽しむ。

13:00 平沢官衙管理事務所の金久保尚さんより、この遺跡の発見と、歴史的意義などについてビデオを使って説明があり、さらに特別に正倉院と同じ作りの一棟を開け頂いて中に入り、説明をいただくという貴重な機会に恵まれた。翌日から改修工事のためこのような案内はできないということであった。



14:00 頃全員無事に筑波総合体育館に到着。

日頃の行いがよかったか、運にも天候にも恵まれた。こんなに身近にあった貴重な文化遺産に触れながら、楽しいひと時を過ごすことができよかったとの声が聞こえてきてホットしました。

(文責 矢部)